

(4) 部会活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため全てメール会議にて開催

• FD支援部会

第1回：4月19日（月）

報告事項のみ

第2回：4月27日（火）～5月12日（水）開催 5月12日（水）議了

（審議事項）「キャンパスライフに関するアンケート調査」見直しの件

第3回：5月11日（火）～5月17日（月）開催 5月17日（月）議了

（審議事項）臨時学生調査実施の件

第4回：5月19日（水）

報告事項のみ

第5回：5月24日（月）～6月3日（木）開催 6月3日（木）議了

（審議事項）「キャンパスライフに関するアンケート調査」の記名方式への変更の件

第6回：6月1日（火）

報告事項のみ

第7回：6月16日（水）～6月23日（水）開催 6月23日（水）議了

（審議事項）2020年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果公開の件

第8回：7月14日（水）

報告事項のみ

第9回：9月14日（火）～9月21日（火）開催 9月21日（火）議了

（審議事項）「学習支援・教育開発センターが所管する学生を対象とする調査の回収データ管理・運用規則」一部改正の件

2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施要領の件

2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」調査項目の件

第10回：10月18日（月）～10月21日（木）開催 10月21日（木）議了

（審議事項）シラバス作成方針の件

2022年度教育方法・教材開発の募集の件

第11回：11月26日（金）～12月2日（木）開催 12月2日（木）議了

（審議事項）2022年度入学時調査実施要領の件

第12回：12月8日（水）

報告事項のみ

第13回：12月16日（木）～12月22日（水）開催 12月22日（水）議了

(審議事項) 2022年度教育方法・教材開発費の申請者に対するヒアリング実施の件
第14回：12月22日(水)～12月28日(火) 12月28日(火) 議了

(審議事項) 2022年度入学時調査 調査項目の件
第15回：12月28日(火)～1月11日(火) 1月11日(火) 議了

(審議事項) 2022年度教育方法・教材開発費の採択候補選定(審査基準の充足の確認および開発費用の査定)の件
第16回：1月20日(木)

報告事項のみ

第17回：1月25日(火)～1月28日(金) 1月28日(金) 議了

(審議事項) 2022年度教育方法・教材開発費採択候補選定の件
第18回：2月1日(火)～2月4日(金) 2月4日(金) 議了

(審議事項) 2022年度新任教員研修会実施の件
第19回：2月18日(金)～2月24日(木) 2月24日(木) 議了

(審議事項) 2022年度「学生による授業評価アンケート」実施の件
「学習支援・教育開発センターが所管する学生を対象とする調査の回収データ管理・運用規則」一部改正の件
「教育開発調査活動費制度に関する申合せ」一部改正の件
「教育方法・教材開発費制度に関する申合せ」一部改正の件

第20回：3月16日(水)～3月22日(火) 3月22日(火) 議了

(審議事項) 2021年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果公開の件
第21回：3月23日(水)

報告事項のみ

〈活動報告〉

今年度の本部会は、まず、「キャンパスライフに関するアンケート調査」を大きく見直した。調査方法をWEB調査に一本化することに加え、調査実施時期を従来より前倒しして11月に実施し、今後は2年次生も対象とすることにした。また、調査項目についても、毎年度調査する定番項目と、年度ごとに変更可能な可変項目を設けることとした。

さらに、次年度より、新たに新入生を対象とした「入学時調査」を実施することにした。入学時調査の導入により、「入学時調査」、「キャンパスライフに関するアンケート調査」、「『学びのふり返り』卒業時調査」と、入学時から卒業時まで一貫した調査により、学生の経年変化をより詳細に確認することが可能となる。



また、昨年度、コロナ禍における学生の学習状況や生活状況を調査するため「臨時学生調査」を2度（「キャンパスライフに関するアンケート調査」も含めると3度）実施したが、今年度も春学期に1度実施した。

これらの学生調査について、「キャンパスライフに関するアンケート調査」および「入学時調査」の実施要領、「臨時学生調査」を含む各調査の調査項目についても本部会で検討を行った。2020年度の「キャンパスライフに関するアンケート調査」について、ホームページにて公開する結果の内容についての検討も行った。

昨年度に制定した「学習支援・教育開発センターが所管する学生を対象とする調査の回収データ管理・運用規則」に、調査結果の集計・分析における教務システム情報の取扱について追記する改正を行った。また、次年度よりFD支援部会の運営方法を変更することに伴い、「学習支援・教育開発センターが所管する学生を対象とする調査の回収データ管理・運用規則」、「教育開発調査活動費制度に関する申合せ」、「教育方法・教材開発費制度に関する申合せ」の一部改正を行った。

そのほか、次年度のシラバス作成に向けて、「シラバス記載方針」を「シラバス作成方針」に改め、シラバス入稿システムに「授業形態」の項目が新設されることに伴う一部改訂を行った。

「教育方法・教材開発費制度」について、昨年度は申請がなかったが、今年度は3件の申請があった。本部会での段階的な審議を経て、最終的に2件の申請が採択候補となった。

次年度の「新任教員研修会」については、キリスト教文化センターによる講演を新たに設けることとし、研修会全体の時間配分も見直した。

「学生による授業評価アンケート」については、次年度の実施に向けて調査項目を一部見直した。

・学習支援検討部会

第1回：8月3日（火）開催

（懇談事項）ラーニング・コモンズに対するご意見について

第2回：10月29日（金）開催

報告事項のみ

第3回：2月24日（木）開催

（懇談事項）今後のラーニング・コモンズの運営について

〈活動報告〉

今年度のラーニング・コモンズ（LC）は、コロナ禍でのイレギュラーな運営が続いているものの、年間を通じて開室することができ、例年行っている学習相談やアカデミックスキルセミナーを、対面とオンラインを併用して行った。春学期の利用状況を踏まえ、秋学期からグループ学習席を増設し、12月からは短縮していた良心館LC2階の開室時間を通常時に戻した。

本部会では、LCの入室者数、各エリアの利用者数、学習相談件数、学習支援コンテンツへのアクセス状況、アカデミックスキルセミナー開催状況の報告を行うとともに、LC利用案内ツアーの実施、LCパンフレットのリニューアルや公式YouTubeチャンネルの開設、大学院在学中の外国人留学生を対象とした新たな取り組みである「日本語ライティングサポートWEEK」の開催、次年度のLA採用予定に関する報告等も行った。

そのうえで、いまだ感染症の収束が見込めない状況であるものの、コロナ禍におけるLCのよりよい活用方法や、感染症収束後の新たな運用などについて意見交換を行った。

(5) 学生による授業評価アンケート

• 春学期（中間）

実施期間：WEB利用…5月19日（水）～6月1日（火）

• 春学期（期末）

実施期間：WEB利用…7月14日（水）～7月27日（火）

調査票利用…7月14日（水）～7月20日（火）

• 秋学期（中間）

実施期間：WEB利用…10月30日（土）～11月12日（金）

• 秋学期（期末）

実施期間：WEB利用…1月11日（火）～1月24日（月）

調査票利用…1月11日（火）～1月17日（月）



(6) 大学入学準備講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンデマンド配信にて開催

講義内容及び配信日程

9月27日(月) 配信開始	その行為、違法です！ ～知らないとコワイ著作権法の世界～	法学部 法律学科 山根 崇邦 教授
	政策学部って何をセイサクするの？ ～学際的問題解決のすすめ～	政策学部 多田 実 教授
	宗教は気候変動を食い止めることができるのか？	神学部 木谷 佳楠 助教
	「株式市場」を通して企業・ビジネスを 観てみよう！	商学部 松本 宗谷 助教
	ウェブデータの機械学習 —「バズる」コンテンツの分析—	理工学部 インテリジェント情報工学科 桂井 麻里衣 准教授
	コミュニケーションにおける表情の役割 —感情心理学からの視座—	心理学部 藤村 友美 准教授
	国家と言語—多言語国家スイスから考える	グローバル地域文化学部 亀山 洋子 准教授
10月18日(月) 配信開始	映画とグローバリゼーション	グローバル・コミュニケーション学部 河原 大輔 助教
	映像文化のデータ分析:私たちはなぜ 映像に惹きつけられるのか？	文化情報学部 佐野 明子 准教授
	医療システムの持続可能性と画像診断	生命医科学部 医情報学科 秋山 いわき 教授
	足利将軍と京都—大学で学ぶ「歴史」—	文学部 文化史学科 山田 徹 准教授
	運動トレーニングによって持久的運動能力 が向上する仕組み	スポーツ健康科学部 高倉 久志 助教
	文化・芸術と経済—コンテンツの創造・流通 に関わるお金の話	経済学部 河島 伸子 教授
	コロナ禍後の暮らしと社会はどうなる？ —未来を考える社会学	社会学部 社会学科 轡田 竜蔵 准教授

(7) 発行物

- CLF report (学習支援・教育開発センターレポート)
第33号：3月31日発行
- 「キャンパスライフに関するアンケート調査」
2020年度調査結果報告書：3月発行

(8) 2020年度 教育方法・教材開発成果報告

- 2020年度 教育方法・教材開発 (B区分) 成果報告会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンデマンド配信にて開催

内 容：

報告者	取組内容
梶山玉香 法学部教授	「障害者でない者と等しく」学ぶための教材・試験のあり方
伊藤利明 生命医科学部教授	学生主体の基礎数学学習支援法の開発 —2019年度「基礎数学の入学前・リメディアル教育支援法の開発」(継続)—

配信期間：11月25日～2022年3月31日